



「ママ薬」「オレ薬」サイトで かかりつけ薬剤師のコツ紹介

アポプラスステーション

ママ薬剤師の復職をサポートする転職サイト「ママ薬」(<http://www.mamayaku.com/>)、男性薬剤師専門の転職サイト「オレ薬」(<http://www.oreyaku.com/>)を運営するアポプラスステーション(東京中央区)は、新たなコンテンツ「できる！かかりつけ薬剤師ガイド」を、それぞれのサイトで公開を開始した。今回の企画は、かかりつけ薬剤師の制度を通して、患者により質の高い医療サービスを提供している薬剤師の特徴を紹介するもの。

昨年からはじめた「かかりつけ薬剤師制度」は、患者一人ひとりの薬の服用・管理をはじめ、体調や食事の管理など健康全般の相談ができる薬剤師を持ってもらうことが狙い。その一方で、かかりつけ薬剤師指導料を算定している薬局は増えてはいるが、現状ではさらなる同制度の浸透度が望まれる状況といえる。

浸透度の低い背景としては、薬剤師自身が指導料として患者に20～100円程度の負担をかけることに抵抗を感じたり、経験不足を不安に感じたりして、制度を適切に提案できていないことも指摘される。そこで同社では、「まずは薬剤師自身にかかりつけ薬剤師制度活用のイメージを持ってもらい、患者への対応や自身のキャリアアップに役立ててもらうため、新たなコンテンツを企画した」とする。

「できる！かかりつけ薬剤師ガイド」では、両サイト各2人ずつの「できるかかりつけ薬剤師」(最大で200人のかかりつけ薬剤師として活躍する男女)に対し、インタビューを実施。かかりつけ薬剤師が制度化されてから現在までの意識の変化や、より多くの患者のかかりつけ薬剤師として貢献していくコツなどを紹介している。